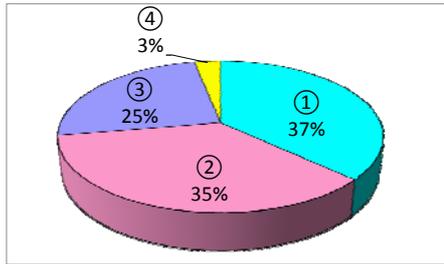


● アンケート調査結果

質問1 安全・安心への取組みとして、治山対策を推進していますが、最も優先的に取り組む必要があると思われるものは何ですか。



① 災害により発生した崩壊地等の復旧整備	24人
② 災害に強い森林を作るための間伐等の森林整備	23人
③ 災害発生に備え、危険地区や避難場所等の周知	16人
④ その他	2人

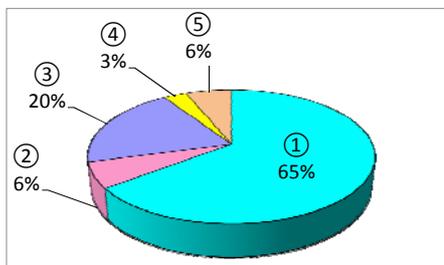
～その他の意見～

- ・治山対策のいない昔の自然林に戻すべき
- ・費用対効果が大切

②の意見として

・森林倒木が下流河川の流水障害となり、下流域の大水害を誘発・拡大する事例が多々あることから、起点である治山対策から手がけることが重要。一方で、昨今のゲリラ豪雨等を鑑みると、地域別の細かい山地の保水力を念頭にした緻密な間伐・植林計画の策定・実行が大切と考える

質問2 治山事業等では、木製の谷止工や丸太積土留工等を積極的に取り入れ、間伐材の利用促進、コスト削減等に取り組んでいますが、治山施設等に木材を利用することについてどのようにお考えですか。

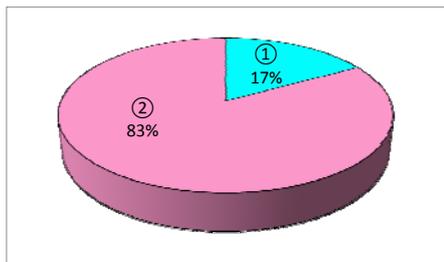


① 森林資源の有効活用のため積極的に利用すべき	42人
② コスト削減のため積極的に利用すべき	4人
③ 景観や自然環境のため積極的に利用すべき	13人
④ 安全対策なので頑丈で長持ちするコンクリートを使用すべき	2人
⑤ その他	4人

～その他の意見～

- ・強度の高い素材と合わせて使用すべき
- ・安全が確保されていれば使用すべき(定期点検の実施)
- ・樹木の材質や特徴を考慮したうえで使用すべき

質問3 平成24年度に近畿中国森林管理局のイベントや管内国有林で行われたイベントなど、毎月の資料送付時にご案内したイベント等に参加されたことはありますか。



① ある	11人
② ない	54人

◇参加された際の感想など

(モニター会議)

- ・現場を肌で感じることができ、大変勉強になった。地道な仕事の内容の一端に触れた思いです。
- ・ふだん見れない森林の見学と森林に対する意見を聞くことができました。
- ・提案型の林業への取組みが国有林らしく素晴らしいと感じました。
- ・台風12号災害の崩壊地を見て、尾根まで人工林となっていたので崩れても仕方ないかなと思いました。山の上方の3割は自然林に残すべきではないかと思っています。

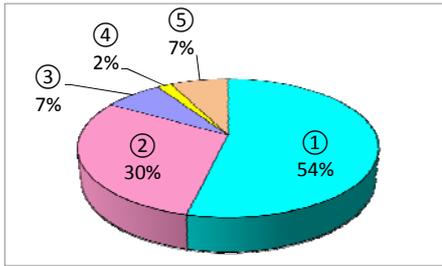
(第63回全国植樹祭2012やまぐち)

- ・居住する地元で開催された大きなイベントであり、開始場所の阿知須は干拓地として開発されたものの、なかなか陽の目を見ない土地でしたが、きら博で地域活用の幕が明けたら、植樹祭で更に華が咲き始めたのかと感慨に浸りました。

(その他)

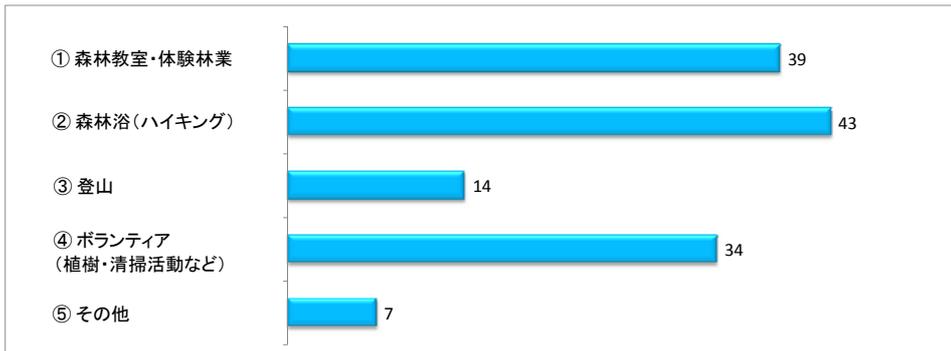
- ・「低コスト造林現地検討会」は、対象者でないことからやむを得ないのですが、地元での開催であったことを思うと参加したかった気持ちがあります。
- ・森林管理局主催のイベントではありませんが、広島県水道局主催の「枝打ち体験」に参加しました。

質問4 イベントに参加できなかった主な理由は何ですか。



① 近隣でのイベントが無かった	29人
② 暇がなかった	16人
③ 健康上の理由	4人
④ 企画内容に興味を持てなかった	1人
⑤ その他	4人
～その他の意見～	
・日程に参加できなかった(仕事の都合上)	

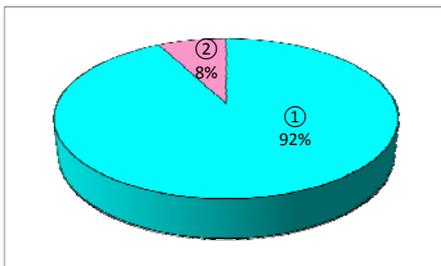
質問5 今後、どのようなイベントが企画されれば参加してみたいですか。(複数回答可)



～その他の意見～

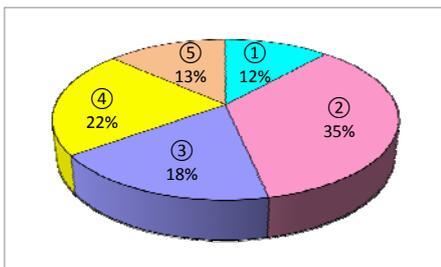
- ・木材を利用した自然エネルギーについての講座
- ・木工細工(工作)、彫刻
- ・体力的に森林での体験が難しい人のために、街の中で「木」を使ったイベント
- ・砂防ダムなどの見学

質問6 ご自宅等ではインターネットへ接続できる環境にありますか。



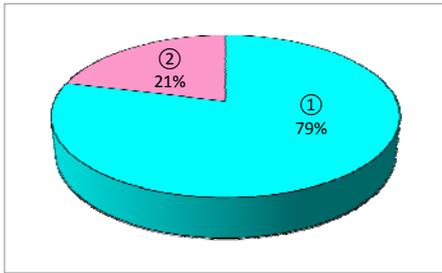
① ある	60人
② ない	5人

質問7 近畿中国森林管理局のホームページを閲覧したことはありますか。



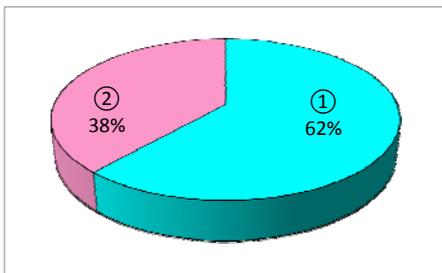
① 毎週1回以上	7人
② 月に1回以上	21人
③ 年に1回以上	11人
④ 1度は見たことがある	13人
⑤ 見たことがない	8人

質問8 近畿中国森林管理局のホームページは見やすいですか。



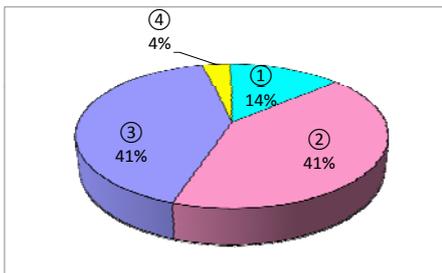
① 見やすい	41人
② 見にくい	11人

質問9 あなたがお住まいの地域の森林管理署等のホームページを閲覧したことはありますか。



① ある	32人
② ない	20人

質問10 近畿中国森林管理局や森林管理署等のホームページを閲覧しなかった理由がありますか。



① 興味なかった	4人
② 閲覧したい気持ちはあるが、閲覧する暇がなかった	12人
③ URLを知らなかった	12人
④ その他	1人

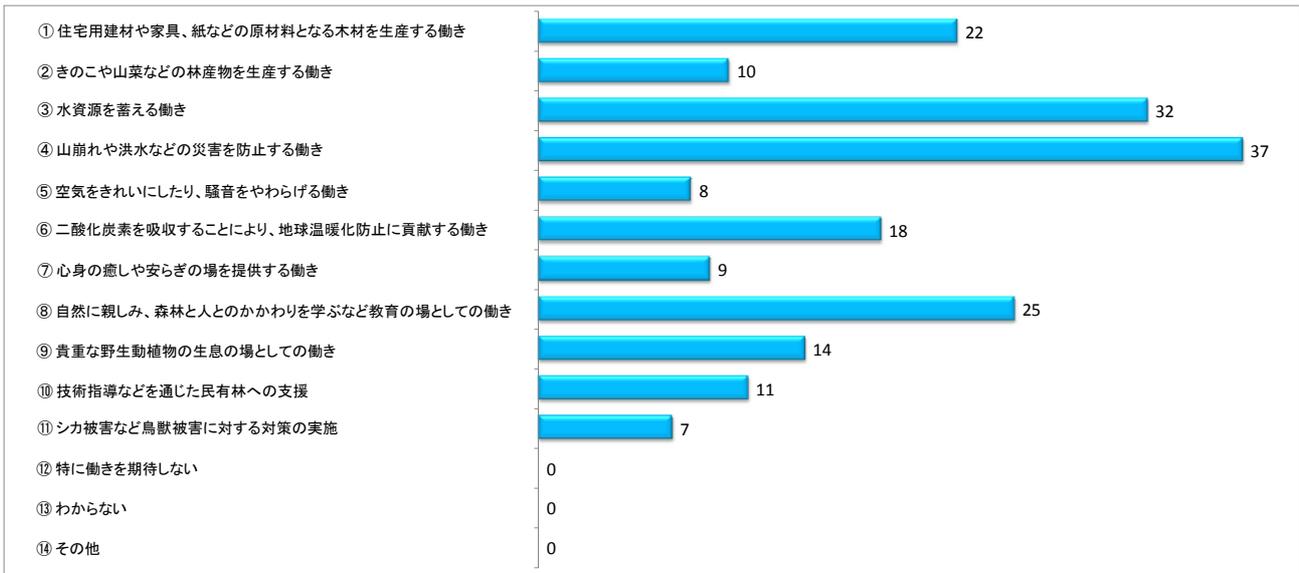
～その他の意見～
・非常に多岐にわたっており、閲覧した箇所を再度見たいときになかなか行き着かない

質問11 近畿中国森林管理局のホームページについて、改善すべき点や感想、今後掲載して欲しい情報は何ですか。

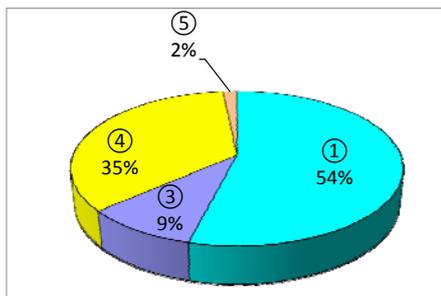
◇主な回答内容

- ・公共関連のホームページ等からリンク設定を行い、ホームページを閲覧してもらえる機会を増やすべき。
- ・若い世代にも魅力的な企画やマスコットキャラクターや流行ロゴがあるといい。
- ・各地域のトピックスを設け、イベント案内や話題、登山情報などが一目で分かるようにしてほしい。
- ・行事、イベント等をもっと企画して掲載してほしい。
- ・用語解説のコーナーがほしい。
- ・採用情報の掲載。
- ・間伐材の利用、工芸品の紹介や販売店などの情報がほしい。
- ・お互いの情報交換やモニター同士の意見交換ができるコーナーがほしい。
- ・全体的に堅い感じがする。国有林の四季の風景などは目に留まりやすいので、視覚に訴えるようなもう少し楽しい雰囲気があるとよい。
- ・新着ニュースが多すぎて、ゴチャゴチャした感じがある。1～2ヶ月のニュースや10件程度に絞ったほうがよい。
- ・トップページのピンクの配色が見えづらい。
- ・予算と事業実行の進捗率について記載し、治山や森林整備にどのくらいの費用が必要なのかをもっとアピールするべき。

質問12(1) 今後の国有林に期待する働きは何ですか。(複数回答可)



質問12(2) 国が森林を所有し、管理経営を行っていることについてどう思われますか。



① 国が管理する必要がある	34人
② 国が管理する必要性がわからない	0人
③ 都道府県や市町村が管理すべき	6人
④ 適切に管理するのであれば、国や地方公共団体のどちらでも良い	22人
⑤ その他	1人

◇主な回答内容

<p>①の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国策として国が重きを置いて管理すべき。 ・国土保全、水源のかん養、森林資源の持続性は勿論のこと、木の文化を支えるための長大径材や檜皮などの安定的な資源供給は、歴史的な見地からしても国で守ってほしい。 ・森林は県をまたがるものが多いことや、県毎の施策に違いがあるので、一つの方針に基づいた管理ができない。 ・国が管理して、豊かな状態で次の世代に残してほしい。 <p>③の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の意見が反映されやすく、住民と一緒に活動する仕組みが作りやすい。 ・国に任せると委託を行っているところもあり、あまり信用ができない。 ・治山は地域防災を前提にしないと居住者を護ることができないことから、地域のことを熟知している都道府県や市町村に任せたい。 <p>④の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無駄なく適切に管理してほしい。 ・効率的、効果的な管理ができればその主体はどちらでもよい。 ・国、地方自治体で線引きするのではなく、お互いに連携して管理してほしい。 <p>⑤の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の森林は管理が行き届いていないように見受けられ、地域住民に関心を持ってもらうためにも、地域行政と協力して身近な森林管理についての情報発信を行ってほしい。

質問12(3) 国産材の消費拡大について、ご意見・ご要望はありますか。

◇主な回答内容

<ul style="list-style-type: none"> ・国産材利用での助成措置などの導入(補助金の有効活用) ・宣伝、広告、情報戦略の徹底(マスコミ等を利用したPR、国産材の良さをアピール) ・住宅メーカーと協力したPRの徹底(国産材を使用したモデル展示場の開設など) ・森林、林業、国産材などについての教育時間を増やす(義務教育課程) ・一定量の国産材使用を義務付ける法律の制定 ・公共建築物への国産材使用(学校、庁舎など) ・流通価格と流通経路の早急な改善が必要(外国産材の輸入制限や国産材価格の引き下げ)
--

質問12 (4) これまでのモニター活動で、森林・林業・国有林等に対する考え方が変わったことは何ですか。

◇主な回答内容

- ・森林管理局が災害復旧や災害防止にこれほど関与していると思わなかった。
- ・国有林の取組みがよく分かり、認識を新たにしている(森林保護の重要性を再認識)。
- ・地道な活動で国有林が管理されており、ほっておくことのできない重要な事業ということが分かった。
- ・森林資源の貴重さや再利用を考えるようになった。
- ・将来家を購入する際は木造にしたいと思うようになった。
- ・ただの山歩き好きから水源涵養の重要性や国民のレクリエーションとしての森林の重要性に気がついた。
- ・電車や車の車窓から、山の手入れが行き届いているか注目しながら景色を見るようになった。
- ・森林、山の活字を目が追うようになった。
- ・森を育てる＝木材を使うことに気づいたこと。
- ・国有林が思ったより少ないこと。
- ・森林管理局の取組みが一般の人々にいまいち浸透していないこと。(森林管理局は何を行っているか分からない)。

質問13 国有林の管理経営等について、ご意見・ご要望はありますか。

◇主な回答内容

- ・国有林の管理経営についての活動等は、深くなくても良いのもっと幅広く一般に周知・発信する事が必要。せつかくのすばらしい技術であっても社会の中で幅広く認知されていない事はもったいない事だと思う(一般市民のわかる管理運営を目指してほしい)。
- ・森林整備を行うボランティアグループや個人等を対象とした、レベル別の技術や教育講習を強化して欲しい。教育者側として、森林管理局以外の自治体等と共同での講習体制があれば、今後の森林政策の基礎の一つになるのではないかと考える。
- ・民間の山林も含めた森林計画をたてたうえで、それぞれの役割と管理をきちっと行ってほしい。民有林は自由にまかせるというこれまでの体勢では、単なる放任でしかない。もっと大きな視点で国土を考えてみる必要があると感じている。
- ・手入れのできていない森林を間伐等で健康な状態にすることで、災害に強い森にしてほしい。また、広葉樹を植樹して針広混交林にし、水源かん養機能を高めた野生動物の棲める森にすれば、獣害被害が減ると思う。
- ・もっと国有林をレクリエーションの場として国民に開放して、国有林が国民に親しまれるよう取組みべきだと思う。
- ・子供にばかりPRしても、子供はお金を動かさない。未来への育成にも程度ものだと思う。

質問14 今まで送付している広報紙、パンフレット、冊子などで、特に分かりにくかった表現、専門用語は何ですか。

◇主な回答内容

- ・わかりにくいという感じはなく、写真も多く、カラフルな作りでとても読みやすかった。
- ・もう一度「森のひろば」や「RINYA」を読んでみましたが、注釈が付いているので良くわかりました。貴局から送られた「用語の解説」もよく使います。
- ・治山に関する用語全般。
- ・低コスト路網生産システム。
- ・いくつか分からない用語があるほうが自分で調べることにより理解が深まると思う。
- ・どの資料もカラーで写真も多く分かりやすかったです。毎月送られてくる「森のひろば」や「RINYA」は一つの楽しみでもあります。
- ・文字が多すぎる。漫画やイラストを取り入れてほしい。
- ・全体に専門すぎて地味であり、インパクトに欠ける点があります。暗くて、読みたくなる雰囲気がない。事務的。

質問15 国有林モニター制度について、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

◇主な回答内容

- ・各署でモニター会議を行ってほしい。全国での意見交換会の場を設けてほしい。
- ・モニター同士のネットワーク作りやネット座談会などを行ってほしい。
- ・モニター制度は広く知られていないため、もっと広報活動を行ってほしい。
- ・森林管理に関しての活動に興味・関心を抱き良いきっかけになって良かったと思う。
- ・国民の理解を深める良い策と思う。引き続き継続してほしい。
- ・インターネット環境を利用した情報の配布、意見の聴取、アンケート等を行うことで効率的で経費の削減になると思う。
- ・モニターからの意見がどう反映されているか分からない。

その他のご意見

◇主な回答内容

- ・毎月の広報誌や各種イベント案内について、最寄りの公共機関等で入手できる環境にあるといいと思います。
- ・国内の森林が外資による売買が行われていることについて、水源の保護等の面からもスピーディーな対応をお願いします。
- ・野生動物の被害により廃業した農家も少なくありません。対策をお願いします。
- ・森林、里山、川、都市部、海はすべてつながっており、その原点としての森林の重要性は大きいと思います。
- ・竹林が拡大しており、竹の有効活用などの研究を進めてほしい。
- ・経営目線でもっと予算増額に繋がることを検討すべき。